

巻頭言 私たちはどんな人なんだろう? 南直人…………… 1

序章 「国民料理」という視点 西澤治彦…………… 9

世界の料理を研究するためのさまざまなアプローチ
国民国家と国民料理 家庭料理と外食産業 本書の構成

第I部 「国民料理」のさまざまな形態

第1章 フランス料理と国民的アイデンティティ

——料理書・美食批評・歴史叙述 橋本周子…………… 20
フランスの食は特別? 料理言説における国民的アイデンティティの芽生え
美食批評、あるいはガストロノミーの成立 「美食の歴史」の歴史
おわりに

第2章 アメリカ料理とは——「国民料理」の輪郭と幻影 新田万里江…………… 40

はじめに

初期アメリカの「国民料理」——植民地主義を隠す幻影としてのトウモロコシ

第3章 インドにおける国家建設と「インド料理」 井坂理穂…………… 63

同化政策と「アメリカ」的な食べ方、そして「抵抗」
アジア太平洋地域からみた「アメリカ料理」

インドの「国民料理」を語る難しさ 食の多様性

ナシヨナリズムの台頭と「われわれ」の料理 「インド料理」とは何か

「インド料理」とヒンドゥー・ナシヨナリズム

インドの外で語られる「インド料理」 結びにかえて

第II部 「国民料理」は国境を越えるか?

第1章 「地中海料理」というイメージ 宇田川妙子…………… 88

——国民料理を補助線として

地中海料理の曖昧さが示す問い
ユネスコ無形文化遺産としての地中海料理 七カ国研究と地中海料理
外部の視線によってつくられた地中海料理 イタリア料理との比較
グローバル市場における変化からの展望

第2章

中国料理はなぜ広まったのか

— 地方料理の伝播と世界各国の「国民食」

岩間弘

109

「中国料理」の形成と地方料理の伝播

世界各都市における多様な「国民食」の形成

アジアから日本のラーメン・餃子を相対化する

第3章

ブラジルにおける日系人の食

— 日本食の伝承と変容 小嶋茂

131

ブラジルと国民料理 日系人の食の伝承

日本食の価値転換と変容 — 椰掬の対象から尊敬すべきお手本へ

日系人は何を食べてきたか 伝承と変容

第Ⅲ部 日本における「国民料理」

第1章

「日本料理」の登場

— 明治～昭和初期の文献から 東四柳祥子

154

語られた「日本料理」の特質 主婦と「日本料理」

二つの「日本料理」改良論 批判された美観重視主義

提案された「日本料理」レシピ 行食事食へのまなざし

再評価された「日本料理」 まとめにかえて

第2章

日本料理の「文法」と境界線の拡大

— 料理人「湯木貞二」の視点から 高橋拓児

176

はじめに 日本料理の「文法」とは何か

「茶」を日本料理の真髄と言いつつ切った湯木貞二

日本料理の境界線の拡大 — 結びにかえて

総括

「国民料理」という視座から見えてきたもの

西澤治彦

197

はじめに — 日本から見た「世界料理」と、アンダーソンの四類型

フランス・アメリカ・インドの事例が示すもの

国民食と国民料理、誰のための料理なのか

越境する地方料理と国民料理化 料理の名付けと、地名料理の誕生

「政治的主張」としての「国民料理」 見えてきた課題
結びにかえて―日本料理の行方と世界料理

総合討論

- フランス料理の形成過程 インド料理のイメージとスパイス アメリカ料理
ソウルフードの位置づけ 国民料理の要件 実体と象徴 日系人の食
家庭料理との関連 料理のプラットフォーム 地名料理 名付けと研究者
料理の越境 高級和食業界 「集合体」としての料理と、その特徴
国民食と国民料理 全体を振り返って

227

「『国民料理』の形成」を考える文献…… 277

あとがき 西澤治彦…… 283

執筆者紹介…… 291

装幀 市川美野里